

第2学年道徳学習指導案

日時 平成24年9月27日(木) 5校時
対象 2年生(男12名 女9名 計21名)
指導者 黒瀬 敬

- 1 主題名 続ける心の大切さ(勤勉 1-(2))
- 2 資料名 八十二さいのそつぎょうしき(学研 みんなのどうとく 2年)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章道徳の内容の第1学年及び第2学年の1「主として自分自身に関すること」の(2)は「自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。」となっている。この内容項目は、じぶんでやらなければいけないことは、どんなに困難を伴っても投げ出さず、最後までやりぬく心情を育むことをねらった内容項目である。この内容項目は、中学年の内容項目1の(2)「じぶんでやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。」と高学年の内容項目2の(2)の「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」また中学校の内容項目2の(2)「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。」に発展していく内容である。

「勤勉」は今後、子どもたちが自己実現をかなえるために必要不可欠な心的要素である。低学年の段階からやるべきことはやり、投げ出さない精神の育成は、今後の人間形成を支える重要な心情であるとともに、基本的な生活習慣の確立に大きく関わってくる。そして自分のめあてに向かい、日々休まず努力することも身につけるべき要素である。

この期の児童は何事においても努力を惜しまず、頑張ろうとする反面、目先の変わったことにはすぐに飛びつくが、持続性には乏しく、自分でやるべきことであっても、途中で投げ出したり、人に頼ったりする傾向もある。昨年度より学習やその他、自分自身で行わなければならないことが格段に増えてきた上に、その他各自が習い事等、自分のめあてを持ち始めたこの時期に、今回の価値について考えていく意義は大きいと考える。

(2) 児童について

学級の児童は2年生になり、入学してきた1年生のよい手本になろうと、学習やその他の活動に意欲的に取り組んでいる。今年度の自分の目標も立て、具体的な取り組みの仕方も確認し、活動を続けている。また毎日の生活目標のふり返りも行い、客観的に自己評価もできるようになってきている。しかしその評価基準は個々の児童によってまちまちで、自分に甘く評価する子どもが多いのも実情である。また今年度の自分の目標は立てたものの、紙の上に字だけが躍っている児童が多いのも実情である。具体的な目標を立てて、すでに一つ目のめあてを達成した児童もいる。このような状況の中で、自分たちが目標に向かっていく姿を今一度確認し、継続して努力することの大切さに改めて気付かせたいと考える。

(3) 資料について

本資料は、八十歳をこえてもなお努力を重ねる主人公の姿を描いたものである。主人公の「おばあちゃん」は八十歳を機に、公民館の貼り絵教室に通い始める。金賞を取ってくる、と意気込んで毎回出かけるが、なかなか賞には入らない。それでも孫とがんばる約束をし、二年間一度も教室を休まず、卒業の日を迎える、という内容である。

本資料は、八十歳の老人の心情を追うという点において子どもたちにとっては難解な資料ではあるが、同時に老いてもなお、努力を惜しまない主人公の尊い姿から多くのことを学べる資料でもありと考えている。

(4) 指導の態度

本学級の今年度の「河北」輝きステージのテーマは「勤勉・努力」である。2学期のねらいとする子ども像は、「自分がやり始めたことは決して投げ出さず、さらに継続することの素晴らしさを感じる子ども」と設定している。本年度に入り、今年度の目標を考えさせ、具体的な取り組みにも時間を費やし、考えさせてきた。またその内容を廊下に掲示し、日常的に意識させるように試みている。また一つ目の目標を達成した子どもには「マイスター」として賞を贈り、次なる目標を設定させている。

一学期から取り組んでいる「業間マラソン」では、「自分の立てためあてにむかって粘り強く練習に取り組む」ことで「河北」輝きステージプランのねらいに迫っている。また十月から算数において「かけ算・九九」の学習が始まる。そこでは、多少困難を伴っても投げ出さない心の育成にも取り組みたいと考えている。

本時の指導では「深める」段階で、コツコツと努力を重ねている主人公の姿、達成感を味わっている主人公の心情を役割演技を通して考えさせたい。また主人公の生き方から、何を学ぶことができるのか、2年生なりに主人公の偉大さ、崇高さを感じとらせたい。「ひろげる」段階では、主人公に手紙を書くという活動を通じて、自分のがんばりを客観的にとらえ、ねらいを把握した後の更なる価値の深化を図りたいと考えている。

4 本時の展開

(1) ねらい

努力し続けることの素晴らしさを感じ、やり始めたことは最後までやりぬこうとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	期待する児童の反応	指導上の留意点 (◆は見つめる、◇はかかわり合いの手立て)
気づく 2	1 自分の立てためあてについて確かめる。 ○あなたの今年の「めあて」は何でしたか。また今、「めあて」にむかってどんながんばりをしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・さかあがりができるようになりたいです。 ・1輪車に乗れるようになりたいので、毎週土曜日に練習するようにしています。 	◆各個人が今年立てためあてを確かめるとともに、現在の自分の様子について語らせ、価値について自分を見つめさせる。
深める 15	2 資料を読み、感想を発表しながら、話し合いの方向性を定める。 ○資料を読んでどんな場面が心に残りましたか。それはどうしてですか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">そつぎょうしょうしょをもらう時、おばあちゃんはどうなことを考えていますか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃんとゆびきりをした場面です。 ・おばあさんが卒業証書をもろう場面です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想から話し合いの方向性を意識させる。
つかむ 15	3 「おばあちゃん」の気持ちを中心に考え、話し合う。 ①「きょうこそは金しょうをとってきますよ。」と出かけていく時、おばあちゃんはどんな思いですか。 ②「ふっふっ。さんねんしょうでした」といって帰ってきた時、おばあちゃんはどんな気持ちですか。 ③卒業証書をもろう時、おばあちゃんはどんなことを考えていますか。 ④このおばあちゃんのすごいところ、いいな、と思うところはどんなところですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日も頑張ってきますよ。 ・今日は金賞をとるくらい頑張るぞ。 ・今日も残念賞だけど、次は頑張らしましょう。 ・もうやめてしまおうかしら。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・あら、私なんかもらっていいのかしら。 ・ずっと続けてきてよかったわ。 ・あきらめないといいことがあるんだね。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一度も休まないところです。 ・あきらめないで続けているところです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢を重ねてもなお意欲的に物事に取り組む主人公の姿勢をとらえさせる。 ・誰でも投げ出したくなる気持ちがあることに触れ、主人公に十分共感させる。 ・卒業証書をもろう主人公になりきって考えることにより、あきらめない心について考え、価値をとらえさせたい。
広げる 10	4 今日の学習で学んだことを生かし「勤勉」について考える。 ○おばあちゃんにお手紙を書いて、自分のがんばりを教えてあげましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対に今年中に1輪車に乗れるようになりたいから今よりもっと練習をします。 ・おばあちゃんすごいね。私も毎日練習をします。 	◆プリントに書かせ、今までの勤勉さについての考えや、今後の自分の努力のありかたなどについてじっくり考えさせる。
まとめる 3	5 教師の説話を聞く。 ○先生のお話を聞きましょう。		・教師の説話を聞くことで価値の深化を図る。